

なごやし腎友会だより
ニュース

トピックス

vol 2

発行 NPO 法人名古屋市腎友会 名古屋市熱田区二番 2 の 18 の 24 今津ビル 201 号
TEL 052.653.6480 FAX 052.653.3271 発行責任者 高橋元治 発行日 平成 22 年 3 月

死亡者の 95 パーセントが 65 歳以上といわれる肺炎
肺炎球菌ワクチン最新情報! 市腎友会役員と万有製薬(株) 懇談



出席者

万有製薬(株) ワクチン事業部
中日本 / 西日本 ワクチン営業部
部長 仲上健一氏
主任 神谷宗可氏
(医療情報担当)

市腎友会役員
加藤会長、奥村会長代行、高橋(元) 事務局長
高橋(金) 編集部長

内容

昨年、新型インフルエンザの流行により、肺炎球菌ワクチン接種も 5% → 7.7% と増加したが、年明けと共に減少傾向にある。

平成 22 年 1 月 27 日、現在の肺炎球菌ワクチン接種公費助成の現状
全国で肺炎球菌ワクチン公費助成は 202 市区町村となっている。県単位では鳥取県が過去に助成した実績がある。沖縄県や佐賀県等が検討中、愛知県では長久手町、東海市、日進市、小牧市が助成対象(2009 年 10 月 29 日現在) 田原市、一宮市が検討中。

名古屋市は今秋より、5 種類(ヒブ、水痘、おたふく、肺炎球菌、子宮頸がん)のワクチン接種について公費助成を発表している。

ワクチン接種に対する助成予定額(低所得者は全額補助)

* ヒブ(0 歳 ~ 1 歳) 4,000 円

* 肺炎球菌(65 歳以上) 4,000 円

* 水痘と流行性耳下腺炎(1 歳 ~ 小学校就学前) 4,000 円と 3,000 円

* 子宮頸がん(11 歳 ~ 14 歳) 20,000 円

なお、実施は今秋からの見通し

市腎友会はあなたの『命と暮らし』を守るために活動をしています